



清水けんいち 市政レポート

政策討議資料
第48号
2021年4月

新型コロナウイルスから“命と暮らし”を守る!

【ご挨拶】

皆様の、日頃からのご支援ご協力に、心より感謝申し上げます。議員活動を市民皆様に御報告する事で、少しでも開かれた政治にしていきたい。皆様と力を合わせて「住みやすく・暮らしやすく・子育てしやすい街」深谷を実現していきたい!

そうした強い思いで、「市政レポート」を発行して参ります。

この市政レポートは私の分身です。毎号ファイルに綴って読んでもらっている子は幸せ者で、そのままポイされている子は涙を流しているかもしれません。

皆さんにお願いします。どうぞ、この子を可愛がってあげてください。

【議会報告】

深谷市議会 令和3年度 第1回定例会3月議会が終了しました。

主な議案

- ・令和3年度一般会計予算（可決）
 - ・令和2年度一般会計補正予算（第9号）（可決）
 - ・手話言語条例について（可決）
 - ・工事請負契約の締結について（可決）
- （他、市長提出議案35件・議員提出議案1件・報告1件）

令和3年度 予算の概要

一般会計歳入歳出予算は共に515億934万6千円、令和2年度当初予算と比較して、1億6,271万1千円の減となりました。

予算から見る“清水”の財政分析

歳入では、新型コロナウイルス感染症が経済に与える影響を考慮して、市税収入を対前年比で21億839万8千円の減少と見込んでおり、その補填として、財政調整基金（いざという時の預金）32億1,965万円を一般会計に繰り入れます。歳出では、市役所庁舎の本体工事が完了したのと分散していた各施設が統合されたことで、総務費が19億2,714万2千円の減としましたが、コロナ禍の中、高齢者施設や保育園などの感染予防対策やワクチン接種に係る費用がプラスとなり、民生費が対前年比で6億8,430万1千円の増額、教育費も遠隔授業関連の整備で5億4,888万3千円の増額となりました。

今後、更に新型コロナウイルス感染症の影響による市内経済は、厳しい状況が考えられることから、緊急経済対策などを早急に検討して行かなければと考えております。

令和3年度・予算内容ピックアップ

・川本複合施設建設事業：2億6,865万円

川本公民館を“もくせい館”の改修と併せて、“もくせい館”、図書館及び支所機能をもつ複合施設として建設整備する事業で、今年度中に工事が開始され令和5年度中のオープン予定です。

・花園小学校給食場建設事業：

4億6,281万8千円

適温給食の提供や食育指導の充実を図るため建設整備されるもので、来年度に供用開始となり、これで市内19の小学校全てに給食場設置となります。



新型コロナウイルスワクチン接種（高齢者65歳以上）の概要

（想定人数：31,200人）

スケジュール：5月上旬に接種券を順次発送（予約受付開始）して、5月下旬頃から接種を開始する。

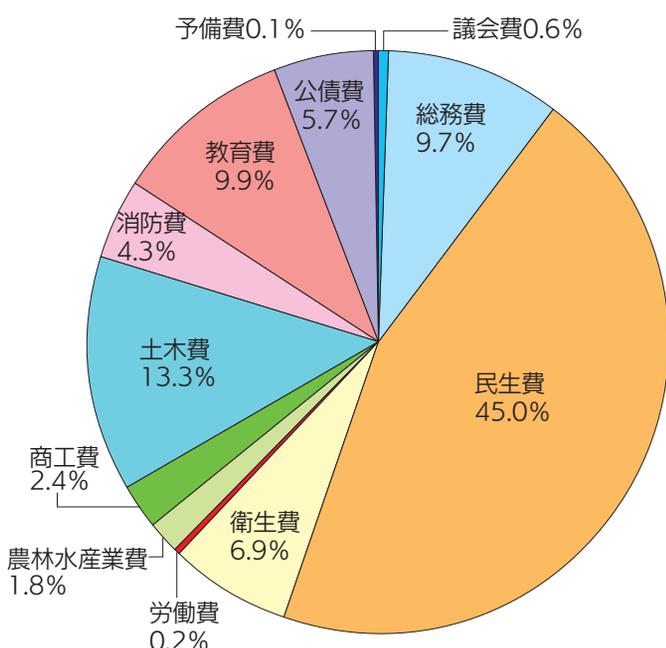
接種場所：集団接種会場の花園公民館と岡部公民館、あねとす病院、皆成病院、菊池病院、北深谷病院、桜ヶ丘病院、佐々木病院、深谷中央病院となっています。



尚、高齢者以外の皆様の接種時期が暑い時期になる場合がありますので、花園・岡部公民館の体育館に冷暖房設備を設置する工事を行っております。利用者の皆様には、ご不便をお掛けしますが、ご理解の程、宜しくお願い申し上げます。

※ワクチン接種に係る、コールセンター 0570-003065

令和3年度一般会計歳出予算款別内訳



(款別)

(単位：千円、%)

款	予算額	構成比
1 議会費	305,921	0.6
2 総務費	5,012,827	9.7
3 民生費	23,197,330	45.0
4 衛生費	3,564,075	6.9
5 労働費	89,155	0.2
6 農林水産業費	941,958	1.8
7 商工費	1,239,323	2.4
8 土木費	6,825,388	13.3
9 消防費	2,207,855	4.3
10 教育費	5,098,582	9.9
11 公債費	2,956,932	5.7
12 予備費	70,000	0.1
合計	51,509,346	100.0

○構成比は、表示単位未満を四捨五入しているため、合計と一致しない場合があります。

3月11日 清水健一の 一般質問と答弁(要約)



「名を成すは、常に窮苦の日にあり、
敗れる事の多くは、得意の時に因る」

成功者と呼ばれる人たちは、必ず「あの困難を、よくやり抜いた」、「あの厳しい状況の中、よくやり遂げた」という艱難辛苦の体験があり。困難に処する時は慎重に臨み、気を引き締めて立ち向かうことで、結果的に成功に繋がることを理解しております。逆に失敗者の多くは、得意の日に、その兆しがある。調子に乗って、大きな事業も小さな事業を行うような軽い気持ちで臨み、目算が外れて失敗してしまいます。だから、得意の時にも、決して調子に乗らず注意深さを持つ。それが厳しい時代を乗り越える教訓である。

郷土の偉人、渋沢栄一翁が座右にしていた言葉であり、私自身も常に意識している教えです。

議席番号15番・清水健一、発言通告書に基づき質問を行います。

質問 デジタルトランスフォーメーション(以下DX)について

第4次産業革命を迎え、世界中の民間企業は生き残りをかけてDXに取り組んでいる中、国も生産性の向上や競争力強化といった経済発展と人口減少・少子高齢化に伴う労働力不足や地域活力の低下などの社会課題解決のために、DXの推進を加速化させております。また、新型コロナウイルス感染症を契機にテレワークや遠隔教育、遠隔医療、インターネットを活用した、新たなビジネスモデルの創出など、様々な場面でデジタル技術を活用した、変革の必要性が高まっております。そこで質問します。国はデジタル庁を創設し、地方自治体へ「自治体DX推進計画」に沿って実行するようにはしていますが、深谷市は、どのように取り組むのか伺います。

答弁 国は、「自治体DX推進計画」で自治体はデジタル技術を活用して、“住民の利便性向上”と“業務の効率化”を求めています。市といたしましては、書かない窓口の導入や電子申請システムを活用したオンラインによる手続きの拡充を図るほか、本年10月には住民票の写し等のコンビニ交付を開始して、住民の利便性向上に努めて参ります。

再質問 この計画の期間は令和7年度迄となっていて、国は令和8年度の情報システム関連経費を現在より3割以上削減することを目標値にすることを求めています。市は、どの程度の削減目標を設定するのか伺います。

答弁 システム全体の設計をしていく中で、国から、まだ詳細が示されていませんので、経費削減に関しましては具体的な数字を、これから検討して参ります。

清水の私見 私が市議会議員にさせていただいてから、毎年のように税制改正や保険制度の改正により、基幹系システム(コンピューター)のシステム改修費が数億円も計上されてきましたが、これからは、国がガバメントクラウドを整備することで、全国の市町が共通データを利用することになり、経費が大幅に削減されるでしょう。ちなみに、本年度の情報システム運営管理予算は、1億7,928万6千円ですので、3割削減として、マイナス5,378万5千円となります。

質問2 “支える人を支える条例”について

埼玉県内の前期・後期高齢者人口は共に約99万人となっていて、4年後には後期高齢者が約121万人に達する見込みです。こうした状況を鑑みて、県は昨年3月に、“支える人を支える条例”「ケアラー支援条例」を、全国で初めて施行いたしました。市は、どのように捉えて、どのような活動を行っていくのか聞かせて下さい。

※ケアラーとは、家族等の介護を無償で行う人のことです。

答弁 県では、ケアラーを社会全体で支えるための仕組みづくりを行う中で、ワンストップ型の総合相談窓口や複合課題を調整するチームの設置により、認知症や障害のある方、難病疾病の方の介護・看護など多様なケアラーや、子育てをしながら介護を担うダブルケアについて支援体制を構築することを目標にしています。深谷市といたしましても、ケアラーの存在を周知するとともに、多重の課題を持つ家族を、まるごと支援できるよう、関係機関と連携をして支援して行きます。



再質問 国の調査では、家族の介護を担う全国の15～29歳は約21万人と云われており、中には小学4年生で兄弟に精神疾患があり、1人親家庭の子は、学校にも行けず、先生に相談もできない状況にあります。まずは、実態調査が必要と思いますが、市の見解を伺います。

※ヤングケアラーとは、ケアラーの中で18歳未満の人です。

再答弁 ヤングケアラーを適切な支援へと繋げていくためには、実態を把握することが重要ですので、児童福祉関係機関や教育委員会などと連携をして調査方法などについて検討して行きます。

質問を終えて

“元気と笑顔の生産地ふかや”の実現は深谷市総合計画に掲げてある目標です。支える人を社会全体で支えていくという仕組みづくりは重要な課題であり、これからも積極的に取り組んでいきたいと思っております。特に、介護の為に学校に行けない子どもたちを救わなければと強く感じました。

これからの“清水”が取り組むべき課題

前号にも書きましたが、収束が見えない新型コロナウイルス感染症が経済に与える影響は、13年前のリーマンショックの時より、遥かに大きいと予想されます。

そのような中ではありますが、キューピーが来年の4月、アウトレットが10月のオープンに向けて工事が進んでおります。交通混雑の解消に向けた道路整備も進められておりますが、自主財源を確保して持続可能な行政運営ができるよう、様々な状況を想定しながら、政策を立案し提言を行ってまいります。

現地の様子(令和3年3月撮影) 深谷市ホームページより



清水健一連絡先

〒369-1246 深谷市小前田2406-8
TEL 048-584-0395

FAX 048-584-0396

ホームページ: <http://www.shimizu-kenichi.jp> (ブログ公開中)

E-mail: info@shimizu-kenichi.jp



プロフィール

昭和36年1月27日生まれ(60才)

家族構成 妻、長男、長男妻、長女、次女、孫2人(8人家族)

- 埼玉県立熊谷工業高校 卒業
- 社団法人深谷青年会議所 第35代理事長
- 深谷市PTA連合会 会長
- 深谷市立花園小学校 PTA会長
- 深谷市立花園中学校 PTA会長
- 埼玉県立深谷高校 PTA会長
- ふかや市商工会 副会長
- 深谷市議会 議長

このレポートは、政務活動費
を使わず清水個人の自費
で発行しております。